



会長	副会長		庶務理事	会計理事	事務局長
次長	課長	課長代理	係長	担当	受付

日医発第 1206 号（技術）
令和 6 年 10 月 9 日

都道府県医師会担当理事 殿

公益社団法人日本医師会
常任理事 佐原 博之
(公印省略)

令和 6 年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会 の実施について

平素より、本会会務にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

臓器移植は、臓器の機能が著しく低下し、移植によってのみ、その回復が見込まれる人に対して行う医療で、臓器提供者はもとより、広く社会の理解と支援があって成り立つ医療です。日本では、現在移植を希望されている方はおよそ 16,000 名ですが、一年間に臓器を提供される方はおよそ 100 名、移植を受けることができる方はわずか 400 名と諸外国に比べ非常に少ない状況です。

臓器移植の一層の定着及び推進を図るためには、より多くの方々に臓器移植に対する理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただくことが極めて重要です。そこで毎年 10 月を「臓器移植普及推進月間」として、広く国民に対する普及啓発を行うこととしております。

今般、令和 6 年度臓器移植普及推進月間（10 月 1 日～同月 31 日）及び第 25 回臓器移植推進国民大会（10 月 20 日、鳥取県）※について、別添のとおり実施することとなり、厚生労働省より本会に対し周知方依頼がありました。

※大会特設サイト：<https://www.pref.tottori.lg.jp/317529.htm>

※大会チラシ：[R6_zouki_kokumin.pdf \(tottori.lg.jp\)](#)

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただきますとともに、貴会管内の関係各所にご周知くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



第25回

臓器移植推進国民大会 in とっとり

～とっとりからアフターコロナのいのちを考える～

2024年

10月20日(日) 14:00～17:00
(開場13:30～)

会場: 米子市文化ホール 〒683-0043
鳥取県米子市末広町293番地

主催/厚生労働省、鳥取県、(公社)日本臓器移植ネットワーク、(公財)日本腎臓財団、(公財)鳥取県臓器・アイバンク
後援/(公社)日本医師会、(公社)日本透析医会、文部科学省、日本放送協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)日本新聞協会、(公社)ACジャパン、(公財)健康・体力づくり事業財団、(公社)日本看護協会、(一社)全国腎臓病協議会、(一社)日本腎臓学会、(一社)日本透析医学会、(一社)日本移植学会、(公財)日本アイバンク協会、NPO法人日本移植者協議会、特定非営利活動法人腎臓サポート協会、公益社団法人鳥取県医師会、鳥取県歯科医師会、一般社団法人鳥取県薬剤師会、公益社団法人鳥取県看護協会、鳥取県教育委員会、米子市、鳥取大学医学部附属病院、独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院、鳥取大学、鳥取県透析医会、鳥取県腎友会、鳥取県病院協会、日本海テレビ、BSS山陰放送、TSKさんいん中央テレビ、株式会社中海テレビ放送、株式会社テレビ朝日鳥取支局、株式会社新日本海新聞社、株式会社山陰中央新報社、株式会社朝日新聞鳥取総局、株式会社毎日新聞鳥取支局、株式会社読売新聞社米子支局、株式会社中国新聞鳥取支局、一般社団法人共同通信社鳥取支局、株式会社時事通信社鳥取支局、株式会社エフエム山陰鳥取支社、NHK鳥取放送局

今だからこそ見える
“いのち”の大切さ

ゲスト
広川ひかる氏

コロナ禍で変わった生活。
今だからこそ、改めて“いのち”の
ことを考えませんか?
お笑いトリオ・ダチョウ倶楽部
上鳥竜兵の妻からみた
“いのち”の大切さをお話します。



大会の様子をご覧いただけます。

視聴無料

WEB配信はこちら

※エントリーは不要です。



お申込み方法

来場参加をご希望の方は、
メールまたは専用フォームよりお申込みください。
※応募状況により、当日のご参加も可能です。

締切

10月6日(日)必着
お申込み専用フォーム



問い合わせ先

第25回 臓器移植推進国民大会運営事務局(株式会社エムアンドエムドットコー内)
〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町251-4 ●TEL 0857-39-2624 ●メール zoukiishoku@mmtv.jp
※個人情報に応募多数の場合、抽選に漏れた方への通知のために利用いたします。なお個人情報については事務局が責任を持って管理し、第三者に開示することはありません。

主催

厚生労働省、鳥取県、(公社)日本臓器移植ネットワーク、(公財)日本腎臓財団、(公財)鳥取県臓器・アイバンク

第25回 臓器移植推進国民大会inとっとり

～とっとりからアフターコロナのいのちを考える～

大会プログラム



13:00～

意思表示の大切さを考える ワークショップ

事前予約制

臓器移植医療についての理解を深め、「意思表示」の大切さを考えるきっかけに、ぜひご参加ください。 ※表面の申込フォームよりお申込みください。

14:00

開会・黙とう

14:15

高校生による書道パフォーマンス(米子北高等学校)

14:30

高校生によるスピーチ(米子北高等学校)

14:40

講演①

講師

鳥取大学医学部附属病院 上田敬博氏

演題

医療現場から見る「いのち」とは

14:55

講演②

講師

広川 ひかる氏

演題

今だからこそ見える「いのち」の大切さ

15:25

厚生労働大臣感謝状贈呈式

15:50

臓器移植関係者によるトークセッション

参加者

- ・コーディネーター: 医師 引田 克弥氏
(鳥取大学医学部附属病院 腎センター長)
- ・臓器提供ご家族: 白木 大輔氏
- ・心臓移植を受けた方: 女鹿田 陽氏

16:30

医学生による発表(鳥取大学 医学部)

登壇者

- ・鳥取大学 医学部
- ・水野 舞氏
- ・水野 至保氏

17:00

閉会

※プログラムの内容は変更となる場合がございます。

登壇者紹介



広川 ひかる氏

高校時代から芸能界を志し、1988年にフジテレビ「発表日本ものまね大賞」で優勝し、芸能界入り。1994年に上島竜兵さんと結婚。2023年に著書「竜ちゃんのぼかやろう」出版。



上田 敬博氏

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター教授。多くの命を救ってきた救急医療のエキスパート。京都アニメーション放火殺人事件被告の元主治医。



引田 克弥氏

鳥取大学医学部附属病院 腎センターセンター長。腎移植、透析を含む慢性腎臓病診療、前立腺癌に対する診療と臨床研究、排尿機能に関わる臨床研究に携わる。



水野 舞氏

現役中学生であり「株式会社マイヤリングス」の社長。自身の体験から耳につけないイヤリング「マイヤリング」を考案し特許を取得。幼少期に母親から生体肝移植を受けた移植経験者。

会場イベント

移植を受けた子ども達の作品展

臓器移植を受けて元気になった子ども達が、臓器を提供して下さったドナーの方、そのご家族、支援して下さった皆さんへの感謝の気持ちを表現した作品を展示します。



グリーンリボン検定ブース

グリーンリボン検定に参加して、臓器移植医療への理解を深めませんか?参加者には「グリーンリボンピンバッジ」を贈呈します。



問い合わせ先

第25回 臓器移植推進国民大会運営事務局(株式会社エムアンドエムドットコー内)
〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町251-4
●TEL 0857-39-2624 ●メール zoukiishoku@mmtv.jp

※個人情報、応募多数の場合、抽選に漏れた方への通知のために利用いたします。なお個人情報については事務局が責任を持って管理し、第三者に開示することはありません。

臓器提供の意思表示にご協力ください。

臓器提供に関する意思是、健康保険証・運転免許証・マイナンバーカードの意思表示欄、臓器提供意思表示カードに記入・携帯するか、インターネットで登録しましょう。

臓器移植に関するお問い合わせ先

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

0120-78-1069 www.jotnw.or.jp [臓器移植](#) [検索](#)

厚生労働省発健生 1002 第 6 号
令和 6 年 10 月 2 日

公益社団法人日本医師会会長 殿

厚生労働事務次官
(公 印 省 略)

令和 6 年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会
の実施について

標記について、別添 1 「臓器移植普及推進月間実施要綱」及び別添 2 「臓器移植推進国民大会概要」により実施することとなりましたので、格段の御配意をお願いいたします。

なお、この月間及び国民大会に対し、地方における貴下関係機関の御協力が得られますよう、特段の御配意を併せてお願い申し上げます。

厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課
移植医療対策推進室臓器移植係 金村・栗和田
〒100-8916
東京都千代田区霞が関 1-2-2
電 話 03(3595)2256 (直通)
F A X 03(3593)6223
E-mail ishokuchousa@mhlw.go.jp

令和6年度臓器移植普及推進月間実施要綱

1 趣 旨

臓器移植は、臓器の機能が著しく低下し、移植によってのみ、その回復が見込まれる人に対して行う医療で、臓器提供者はもとより、広く社会の理解と支援があって成り立つ医療である。このような移植医療の適正な実施に資することを目的として、「臓器の移植に関する法律」が平成9年10月に施行されて以来、脳死下及び心臓が停止した死後における臓器移植が逐次行われ、一定の実績を積み重ねてきているが、平成22年の改正法施行後においても臓器提供事例は、顕著な増加を示していない。

今後、臓器移植の一層の定着及び推進を図るためには、より多くの方々に臓器移植に対する理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただくことが極めて重要であることから、「臓器移植普及推進月間」を設け、広く国民に対して、普及啓発を行うものとする。

2 主 催（予定）

厚生労働省、各都道府県、（公社）日本医師会、（公社）日本臓器移植ネットワーク、（公財）日本腎臓財団、（公社）日本透析医会

3 後 援（予定）

文部科学省、日本放送協会、（一社）日本民間放送連盟、（一社）日本新聞協会、（公社）ACジャパン、（公財）健康・体力づくり事業財団、（公社）日本看護協会、（一社）全国腎臓病協議会、（一社）日本腎臓学会、（一社）日本透析医学会、（一社）日本移植学会、（公財）日本アイバンク協会、NPO法人日本移植者協議会

4 実施期間

令和6年10月1日（火）から同月31日（木）まで

5 重点目標

- (1) 臓器不全の根治療法である臓器移植について、理解を深めていただくとともに、できるだけ多くの人々が臓器提供に関する意思表示を行っていただくよう広く国民に呼びかける。
- (2) 国民への啓発とあわせて、各地域においては、関係機関の協力により臓器移植体制の整備・強化を図る。
- (3) 健全な日常生活を営むために疾病予防の重要性を国民に認識してもらう。

6 推進月間の標語

「いのちへの優しさとおもいやり」

上記の他、関係団体において適宜定めるものとする。

通知文書・ポスター・チラシ等に本標語を記載する、テレビ・ラジオ等にて呼びかける際に本標語と併せて告知するなどの活用を推奨する。

7 実施行事等（予定）

(1) 臓器移植普及推進月間の周知

臓器移植普及推進月間を国民一般に周知させるため、ポスター・パンフレット等を作成し、関係団体などに配布する。

(2) 大会の開催等

ア．臓器移植を推進するための全国民に向けた大会を開催する。

臓器移植推進国民大会（令和6年10月20日（日）鳥取県）

イ．各地域において、月間の趣旨に沿った集会、講演会などを実施する。

(3) 報道機関との連携

インターネット、ラジオ、新聞等報道機関の協力を得るとともに、都道府県広報紙、関係団体の機関紙の活用を図り、臓器移植推進に関する広報を実施する。

第25回臓器移植推進国民大会概要

1. 目的

臓器移植についての理解を深めるとともに、臓器移植に関する意思表示をしていただくよう呼びかけること等により、我が国における臓器移植の一層の定着推進を図る。

2. 主催（予定）

厚生労働省、鳥取県、（公社）日本臓器移植ネットワーク、（公財）日本腎臓財団、（公財）鳥取県臓器・アイバンク

3. 後援（予定）

文部科学省、（公社）日本医師会、（公社）日本透析医会、日本放送協会、（一社）日本民間放送連盟、（一社）日本新聞協会、（公社）ACジャパン、（公財）健康・体力づくり事業財団、（公社）日本看護協会、（一社）全国腎臓病協議会、（一社）日本腎臓学会、（一社）日本透析医学会、（一社）日本移植学会、（公財）日本アイバンク協会、NPO 法人日本移植者協議会、NPO 法人腎臓サポート協会

4. 期日・会場

令和6年10月20日（日）

「米子市文化ホール」（鳥取県米子市）

5. 大会内容（予定）

- ・移植医療功労者および施設に対する感謝状贈呈、臓器提供をされた方に対する追悼
- ・特別ゲストによる講演 他